◆----------◆

アピアランス＜問題＞への心理社会的支援のための研修会（2023 年度）
（2023 年 12 月 16 日(土)開催／11 月 15 日(水)正午申込受付開始
https://psych-ws20231216.peatix.com/

◆----------◆

このたび公益社団法人日本心理学会では，2023 年 12 月 16 日(土)に
「アピアランス＜問題＞への心理社会的支援のための研修会（2023 年度)」
を開催することになりました。
本研修会は 2021 年度から継続して開催しており，今年が第 3 回目の開催となります。

「対面」または「オンライン」のいずれかの方法で参加することができます。
申込期間は，11 月 15 日(水)正午から 12 月 9 日(土)23 時 55 分までです。

参加をご希望の方は，下記申し込みサイトの内容をご確認の上，
所定の期間内にお申し込みください。

アピアランス＜問題＞への心理社会的支援のための研修会（2023 年度）
https://psych-ws20231216.peatix.com/

■日時
2023 年 12 月 16 日(土)10:00-17:35（12:00-13:00 昼休み）

■開催形式・定員
・対面：定員 15 名（会場：日本心理学会事務局 -東京都文京区）
・オンライン：定員 25 名（Zoom ミーティング）

■参加費
8,000 円（対面・オンラインいずれも同額）

■お申し込み
https://psych-ws20231216.peatix.com/
※申込期間：11 月 15 日(水)正午から 12 月 9 日(土)23 時 55 分まで

■概要
アピアランス（外見）に関連した〈問題〉は文化的圧力と密接に関連しているため，日常生活の至るところに存在する。可視的差異を有する人もそうでない人もアピアランスに関する苦悩を抱え，全人口のおおよそ 100 人に 1 人が問題をかかえている。

医療現場のさまざまな部署（先天性疾患・後天性慢性疾患・外傷や熱傷・がん領域・精神科等）では，アピアランスに苦悩を抱える患者が少なくなく，現場のスタッフだけでは対応しきれていない現状がある。現在、EU やイギリスでは、包括的ケアシステムで対処しようとする試みが進められている。

本研修では，可視的差異を有する人に対して適切な心理社会的支援を行うことができる人材育成，チーム医療の一員として医療スタッフにコンサルテーションができる人材育成を目指し，アピアランスに関する〈問題〉を概観した上で，対象者への理解や支援について講義と実習を行う。

■対象者
　看護師，公認心理師，臨床心理士，言語聴覚士，認定心理士他，病院臨床場面やカウンセリング場面でアピアランスに〈問題〉を抱えた人への支援を行ってきた人，もしくはアピアランスに〈問題〉を抱えた人への支援に関心のある人。
※当事者を対象とした研修会ではありません。

■主催
公益社団法人日本心理学会

■企画
日本心理学会研修委員会
真覚 健（委員長，宮城大学）・松本 学（共愛学園前橋国際大学）

■講師
原田 輝一（医療法人生登会）
鈴木 公啓（東京未来大学）
松本 学（共愛学園前橋国際大学）
野澤 桂子（目白大学）
真覚 健（宮城大学）
藤間 勝子（国立がん研究センター中央病院）
矢澤 美香子（武蔵野大学）

山宮 裕子（テンプル大学ジャパン）
平泉 拓（宮城大学）
生田目 光（筑波大学）
鈴木 光海（東北大学）

■臨床心理士資格更新ポイント
　臨床心理士の方が本研修会（ワークショップ型研修会）に参加し，すべての研修を修めると，下記の通り臨床心理士資格更新ポイントが付与されます。
　・対面：2 ポイント
　・オンライン：1 ポイント

■本研修会の詳細や注意事項については，申込サイトをご覧ください。
https://psych-ws20231216.peatix.com/

■問い合わせ先
公益社団法人日本心理学会 事務局
jpa@psych.or.jp